

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 24 年 8 月 16 日 (2012.8.16)

【公表番号】特表 2011-526303 (P2011-526303A)

【公表日】平成 23 年 10 月 6 日 (2011.10.6)

【年通号数】公開・登録公報 2011-040

【出願番号】特願 2011-516765 (P2011-516765)

【国際特許分類】

A 6 1 K 38/17 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

A 6 1 P 7/04 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 0 7 K 14/78 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 37/12 Z N A

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 3/10

A 6 1 P 7/04

A 6 1 K 37/02

C 1 2 N 15/00 A

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 5/00 1 0 1

C 0 7 K 14/78

C 1 2 N 1/15

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 6 月 27 日 (2012.6.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

エラスチン様ペプチド (E L P) 成分と、グルカゴン様ペプチド (G L P) - 1 受容体作動薬を含む治療剤であって、

前記 G L P - 1 受容体作動薬が G L P - 1 であり、

前記治療剤が、配列番号：56 で表されるアミノ酸配列を有し、その N 末端に G L P の H i s ⁷ を有する、治療剤。

【請求項 2】

前記 G L P - 1 受容体作動薬が、プログルカゴン遺伝子のプロセシングに由来するペプチドのアミノ酸配列を有する、請求項 1 に記載の治療剤。

【請求項 3】

前記 G L P - 1 受容体作動薬が、オキシントモジュリンである、請求項 1 に記載の治療剤。

【請求項 4】

前記 G L P - 1 受容体作動薬が、胃抑制ペプチド (G I P) である、請求項 1 に記載の治療剤。

【請求項 5】

前記 E L P 成分が、前記 G L P - 1 受容体作動薬の C 末端に位置する、請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載の治療剤。

【請求項 6】

前記 E L P 成分と前記 G L P - 1 受容体作動薬との間に、スペーサー部分をさらに含む、請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載の治療剤。

【請求項 7】

前記 E L P 成分が、配列番号 1 ~ 1 2 より選択される繰返し配列ユニットを含む、請求項 1 から 6 のいずれか 1 項に記載の治療剤。

【請求項 8】

前記繰返し配列ユニットが、 V P G X G (配列番号 3) であり、各 X が、アラニン、アルギニン、アスパラギン、アスパラギン酸、グルタミン酸、グルタミン、グリシン、ヒスチジン、イソロイシン、ロイシン、リジン、メチオニン、フェニルアラニン、セリン、トレオニン、トリプトファン、チロシン、およびバリン残基から独立に選択されるアミノ酸である、請求項 7 に記載の治療剤。

【請求項 9】

約 6 0 k D a 未満の分子量を有する、請求項 1 に記載の治療剤。

【請求項 1 0】

遺伝的にコードされた融合タンパク質である、請求項 1 から 9 のいずれか 1 項に記載の治療剤。

【請求項 1 1】

請求項 1 0 に記載の治療剤をコードするヌクレオチド配列を含むポリヌクレオチドであって、ヌクレオチド配列に作動可能に連結した発現制御要素を含んでいてもよい、ポリヌクレオチド。

【請求項 1 2】

請求項 1 1 に記載のポリヌクレオチドを含むベクター。

【請求項 1 3】

請求項 1 1 に記載のポリヌクレオチド又は請求項 1 2 に記載のベクターを含む単離された宿主細胞。

【請求項 1 4】

請求項 1 から 1 0 のいずれか 1 項に記載の治療剤と、皮下注射に適した薬学的に許容される担体および / または賦形剤と、を含む医薬組成物。

【請求項 1 5】

患者における糖尿病、耐糖能障害、及び肥満から選択される生物学的状態、障害、若しくは疾患の治療または予防に使用するための、請求項 1 4 に記載の医薬組成物。

【請求項 1 6】

請求項 1 から 1 0 のいずれか 1 項に記載の治療剤と、経鼻投与に適した薬学的に許容される担体および / または賦形剤と、を含む医薬組成物。

【請求項 1 7】

患者における糖尿病、耐糖能障害、及び肥満から選択される生物学的状態、障害、若しくは疾患の治療または予防に使用するための、請求項 1 6 に記載の医薬組成物。